

大学番号：公002

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

共同設置

秋田県立大学大学院 システム科学技術研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻
秋田大学大学院 理工学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 秋田県立大学
国立大学法人 秋田大学

平成29年5月1日現在

秋田県立大学：作成担当者	
教育本部 本荘キャンパス教務チーム	
職名・氏名	マネージャー <small>タグチ</small> 田口 <small>カスヤ</small> 和哉
電話番号	0184-27-2027
F A X	0184-27-2180
e-mail	taguchi@akita-pu.ac.jp
秋田大学：作成担当者	
担当部局（課）名 理工学研究科	
職名・氏名	総括主査 <small>サトウ</small> 佐藤 <small>タクミ</small> 巧
電話番号	018-889-2314
（夜間）	018-889-2314
F A X	018-889-2300
e-mail	takumi@jim.u.akita-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は、設置時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	15
6. 改善意見等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者，大学名

公立大学法人 秋田県立大学 : 秋田県立大学大学院

国立大学法人 秋田大学 : 秋田大学大学院

(2) 大学の位置

秋田県立大学

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

(〒010-0195: 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438)

秋田大学

〒010-8502: 秋田県秋田市手形学園町1-1

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(3) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
秋田県立大学	理事長 (該当しない場合は不要)	(コマ アツシ) 小間 篤 平成23年4月	(コバヤシ ジュンイチ) 小林 淳一 平成29年4月	平成29年3月31日付 任期満了のため(29)
	学長	(コマ アツシ) 小間 篤 平成23年4月	(コバヤシ ジュンイチ) 小林 淳一 平成29年4月	平成29年3月31日付 任期満了のため(29)
	研究科長	(マツモト シンイチ) 松本 真一 平成27年4月		
	専攻長	(ミムロ テツシ) 御室 哲志 平成28年4月		
秋田大学	学長	(ヤマモト フミオ) 山本 文雄 平成28年4月		
	研究科長	(ムラオカ ミキオ) 村岡 幹夫 平成28年4月		
	専攻長	(ナカムラ マサヒデ) 中村 雅英 平成28年4月		

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・ 大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称等

大学名	調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
			修業年限	入学定員	収容定員	
秋田県立大学	大学院システム科学技術研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻 修士(工学)	工学関係	2年	5人	10人	基礎となる学部等 システム科学技術学部
秋田大学	大学院理工学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻 修士(工学)	工学関係	2年	12人	24人	基礎となる学部等 理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

大学名	報告年度 区分	平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
秋田県立大学	A 入学定員	5人 (若干名) [若干名]	—人	5人 (若干名) [若干名]	—人	1.20倍	
	志願者数	7 (—) [—]	— (—) [—]	6 (—) [—]	— (—) [—]		
	受験者数	7 (—) [—]	— (—) [—]	6 (—) [—]	— (—) [—]		
	合格者数	6 (—) [—]	— (—) [—]	6 (—) [—]	— (—) [—]		
	B 入学者数	6 (—) [—]	— (—) [—]	6 (—) [—]	— (—) [—]		
	入学定員超過率 B/A	1.20		1.20			
秋田大学	A 入学定員	12人 (若干名) [若干名]	若干名	12人 (若干名) [若干名]	若干名	1.00倍	
	志願者数	16 (—) [1]	— (—) [—]	13 (—) [1]	— (—) [—]		
	受験者数	16 (—) [1]	— (—) [—]	13 (—) [1]	— (—) [—]		
	合格者数	15 (—) [1]	— (—) [—]	12 (—) [1]	— (—) [—]		
	B 入学者数	12 (—) [—]	— (—) [—]	12 (—) [1]	— (—) [—]		
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.00			

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

大学名	報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
秋田県立大学	1年次	6 [—] (—)	— [—] (—)	6 [—] (—)	— [—] (—)	
	2年次	/		6 [—] (—)	— [—] (—)	
	計	6 [—] (—)		12 [—] (—)		
秋田大学	1年次	12 [—] (—)	— [—] (—)	12 [1] (—)	— [—] (—)	
	2年次	/		12 [—] (—)	— [—] (—)	
	計	12 [—] (—)		24 [1] (—)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
				退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
秋田県立 大学	平成28年度 入学者	6人	0人	平成28年度	0人	0人		0%
				平成29年度	0人	0人		
	平成29年度 入学者	6人	0人	平成29年度	0人	0人		0%
	合計	12人	0人					0%
秋田 大学	平成28年度 入学者	12人	0人	平成28年度	0人	0人		0%
				平成29年度	0人	0人		
	平成29年度 入学者	12人	0人	平成29年度	0人	0人		0%
	合計	24人	0人					0%

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

専 門 科 目	ライフサイクルプランニング基礎	1前	秋田県立大学	2				2			兼3	オムニバス
	ライフサイクルアセスメント	1前	秋田県立大学		2			1				
	次世代自動車工学	1後	秋田県立大学		2		1					
	環境電磁工学	1前	秋田県立大学		2			1				
	都市環境論	1後	秋田県立大学		2			1			兼1	オムニバス
	ライフサイクルデザイン製品技術論	1後	秋田県立大学		2						兼1	
	環境型生産管理論	1後	秋田県立大学		2						兼1	
	音環境工学	1後	秋田県立大学		2						兼1	
	環境・エネルギー工学	1前	秋田県立大学		2						兼1	
	ライフサイクルデザイン工学基礎	1・2前	秋田大学	2			1					
	ライフサイクルデザイン工学特論	1・2後	秋田大学		2						兼1	
	熱流体エネルギー移動・変換工学	1・2後	秋田大学		2		1					
	電磁エネルギー変換工学	1・2前	秋田大学		2		1					
	マイクロ加工工学特論	1・2前	秋田大学		2				1			
	先端機能材料科学特論	1・2後	秋田大学		2				1			
	応用物性学	1・2前	秋田大学		2				1			
	ライフサイクルデザイン工学特別講義 I	1後	秋田大学		1						兼1	
	ライフサイクルデザイン工学特別講義 II	2前	秋田大学		1						兼1	
	地域産業論	1後	秋田大学		2		1					
	電子デバイス工学	1・2後	秋田大学		2						兼1	
	電子制御機械工学特論	1・2後	秋田大学		2						兼1	
	岩盤工学特論 I	1・2後	秋田大学		2						兼1	
	資源経済学特論	1・2前	秋田大学		2						兼1	
都市システム計画特論	1・2前	秋田大学		2						兼1		
ライフサイクルデザイン工学セミナー	1通	秋田県立大学 秋田大学	2			1 3		4 3				
ライフサイクルデザイン工学特別研究	1～2通	秋田県立大学 秋田大学	8			1 3		4 3				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の2)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

大学名	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
秋田県立大学	科目 4	科目 73	科目 1	科目 78	科目 4 [±0]	科目 73 [±0]	科目 1 [±0]	科目 78 [±0]	
秋田大学	科目 4	科目 73	科目 1	科目 78	科目 4 [±0]	科目 73 [±0]	科目 1 [±0]	科目 78 [±0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
秋田県立大学	1		該当なし				
	2						
	3						
秋田大学	1		該当なし				
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
秋田県立大学	1		該当なし				
	2						
	3						
秋田大学	1		該当なし				
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

秋田県立大学：該当なし
秋田大学：該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(秋田県立大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{78} = \boxed{}\%$$

(秋田大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{78} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(秋田県立大学)

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	372,064㎡	0㎡	0㎡	372,064㎡			
	運 動 場 用 地	300,119㎡	0㎡	0㎡	300,119㎡			
	小 計	672,183㎡	0㎡	0㎡	672,183㎡			
	そ の 他	2,146,572㎡	0㎡	0㎡	2,146,572㎡			
	合 計	2,818,755㎡	0㎡	0㎡	2,818,755㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		92,279㎡ (92,279㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	92,279㎡ (92,279㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	32室	17室	224室	9室 (補助職員 2人)	2室 (補助職員 2人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		システム科学研究科共同ライフサイクルデザイン工学専攻		5 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				点
	システム科学技 術研究科共同ラ イフサイクルデ ザイン工学専攻	115,000 [26,500] (110,500 [25,500])	4,030 [3,210] (4,030 [3,210])	2,750 [2,750] (2,750 [2,750])	2,170 (2,130)	1,900 (1,900)	- (-)	
	計	115,000 [26,500] (110,500 [25,500])	4,030 [3,210] (4,030 [3,210])	2,750 [2,750] (2,750 [2,750])	2170 (2,130)	1900 (1,900)	- (-)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	4,879㎡		576		309,917			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	4,199㎡		トレーニングルーム		314㎡ (2室)			
			テニスコート		10面			
			野球場		1 (両翼100m)			
陸上競技場			2 (400m/周)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	972千円	972千円	図書購入費	22,000千円	22,000千円	22,000千円
	共同研究費等	131,910千円	131,910千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		848千円	536千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金(秋田県)、受託研究事業収入 等						

(秋田大学)

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	258,144 m ²	0 m ²	0 m ²	258,144 m ²			
	運動場用地	76,253 m ²	0 m ²	0 m ²	76,253 m ²			
	小 計	334,397 m ²	0 m ²	0 m ²	334,397 m ²			
	そ の 他	104,058 m ²	0 m ²	0 m ²	104,058 m ²			
	合 計	438,455 m ²	0 m ²	0 m ²	438,455 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	132,654 m ² (132,654 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	132,654 m ² (132,654 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	99 室	130 室	543 室	14 室 (補助職員 4 人)	6 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	理工学研究科 共同ライオンゲザ工学専攻			6 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分を含む
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	理工学研究科 共同ライオンゲザ工学専攻	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
計	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	6,321 m ²		652		582,537			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	7,908 m ²		陸上競技場, 野球場, 多目的運動場, テニスコート, プール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
		共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要			—				

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋田県立大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
システム科学技術学部								
機械知能システム学科	4	80	—	320	学士 (工学)	1.00	平成11年度	秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84
電子情報システム学科	4	80	—	320	学士 (工学)	0.99	平成11年度	
建築環境システム学科	4	40	—	160	学士 (工学)	1.06	平成11年度	
経営システム工学科	4	40	—	160	学士 (工学)	1.03	平成11年度	
生物資源科学部								
応用生物科学科	4	40	—	160	学士 (生物資源科学)	1.08	平成11年度	秋田県秋田市下新城中野字街道端西241番438
生物生産科学科	4	40	—	160	学士 (生物資源科学)	1.08	平成11年度	
生物環境科学科	4	30	—	120	学士 (生物資源科学)	1.05	平成11年度	
アグリビジネス学科	4	40	—	160	学士 (農学)	1.03	平成18年度	秋田県南秋田郡大湯村字南2丁目2番地
システム科学技術研究科 (博士前期課程)								
機械知能システム学専攻	2	17	—	34	修士 (工学)	1.50	平成14年度	秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84
電子情報システム学専攻	2	17	—	34	修士 (工学)	0.76	平成14年度	
建築環境システム学専攻	2	6	—	12	修士 (工学)	2.00	平成14年度	
経営システム工学専攻	2	5	—	10	修士 (工学)	0.60	平成14年度	
共同ライフサイクルデザイン工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24年度	平成28年度より学生募集停止
共同ライフサイクルデザイン工学専攻 (博士後期課程)	2	5	—	10	修士 (工学)	1.20	平成28年度	
総合システム科学専攻	3	8	—	24	博士 (工学)	0.46	平成14年度	同上
生物資源科学研究科 (博士前期課程)								
生物資源科学専攻	2	28	—	56	博士 (生物資源科学)	0.80	平成23年度	秋田県秋田市下新城中野字街道端西241番438
(博士後期課程) 生物資源科学専攻	3	5	—	15	博士 (生物資源科学)	0.33	平成23年度	同上

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋 田 大 学							備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
<< A C 対象学部等 >> 国際資源学部 国際資源学科	4	120	—	480	学士 (資源学)	1.02	平成26	秋田市手形学園町1番1号	
教育文化学部 学校教育課程 地域文化学科 地域科学課程 国際言語文化課程 人間環境課程	4	110	—	440	学士 (学校教育)	1.04	平成10	秋田市手形学園町1番1号	平成26年度入学定員増(10人) 平成26年度より 学生募集停止
	4	100	—	400	学士 (地域文化)	1.02	平成26		
	4	—	—	—	学士 (地域科学)	—	平成10		
	4	—	—	—	学士 (国際言語文化)	—	平成10		
	4	—	—	—	学士 (人間環境)	—	平成10		
医学部 医学科 保健学科	6	124	2年次 5	759	学士 (医学)	1.00	昭和45	秋田市本道一丁目1の1	
	4	106	3年次 14	452	学士 (保健学) 学士 (看護学)	1.05	平成14		
理工学部 生命科学科 物質科学科 数理・電気電子 情報学科 システムデザイン 工学科 各学科共通	4	45		180	学士 (理学)	0.99	平成26	秋田市手形学園町1番1号	平成26年度より 学生募集停止
	4	110		440	学士 (理工学)	1.02	平成26		
	4	120		480	学士 (理学) 学士 (工学)	1.07	平成26		
	4	120		480	学士 (工学)	1.09	平成26		
			3年次 12	12					
工学資源学部 地球資源学科 環境応用化学科 生命化学科 材料工学科 情報工学科 機械工学科 電気電子工学科 土木環境工学科 各学科共通	4	—	—	—	学士 (資源学) 学士 (工学)	—	平成10	秋田市手形学園町1番1号	
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20		
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20		
	4	—	—	—	学士 (理学) 学士 (工学)	—	平成10		
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10		
	4	—	—	—	学士 (工学) 学士 (工学)	—	平成10		
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10		
			3年次 12	—					平成28年度より 学生募集停止

大学院国際資源学研究科 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
資源地球科学専攻	2	17	—	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
資源開発環境学専攻	2	23	—	46	修士 (理学) 修士 (資源学) 修士 (工学)	0.71	平成28		
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	—	20	博士 (資源学) 博士 (工学) 博士 (理学)	0.65	平成28		
大学院教育学研究科 (修士課程)								秋田市手形学園町1番1号	
心理教育実践専攻	2	6	—	12	修士 (教育学)	1.08	平成28	}	平成28年度より 学生募集停止
学校教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
教科教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
(専門職学位課程)									
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.12	平成28		
大学院医学系研究科 (修士課程)								秋田市本道一丁目1の1	
医科学専攻	2	5	—	10	修士 (医科学)	0.30	平成19		
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	12	—	24	修士 (看護学) 修士 (リハビリテーション科学)	1.04	平成19		
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	—	9	博士 (保健学)	1.11	平成21		
(博士課程)									
医学専攻	4	30	—	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
大学院理工学研究科 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.76	平成28		
物質科学専攻	2	42	—	84	修士 (理工学)	0.79	平成28		
数理・電気電子 情報学専攻	2	45	—	90	修士 (理学) 修士 (工学)	1.07	平成28		
システムデザイン 工学専攻	2	36	—	72	修士 (工学)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	1.00	平成28		

(博士後期課程)									
総合理工学専攻	3	10	—	20	博士 (理学) 博士 (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28		
大学院工学資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
地球資源学専攻	2	—	—	—	修士 (工学) 修士 (資源学)	—	平成14		平成28年度より 学生募集停止
環境応用化学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24		
生命科学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成24		
材料工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14		
情報工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14		
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14		
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14		
土木環境工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24		
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	—	—	—	博士 (工学) 博士 (資源学)	—	平成14		
生命科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学)	—	平成26		
機能物質工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14		
生産・建設工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14		
電気電子情報 システム工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<秋田県立大学システム科学技術研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻>

(1) 担当教員表 (秋田県立大学)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	ミロ テツ 御室 哲志 (64)	平成28年4月	次世代自動車工学 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
専任	准教授	トハナ テルオ 戸花 照雄 (47)	平成28年4月	環境電磁工学 標準化論A ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
専任	准教授	アサノ コウイチ 浅野 耕一 (45)	平成28年4月	都市環境論 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
専任	准教授	カサハラ ノブヒロ 金澤 伸浩 (49)	平成28年4月	ライフサイクルプランニング基礎 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
専任	准教授	リョウ スズク 梁 瑞録 (52)	平成28年4月	標準化論A ライフサイクルアセスメント ライフサイクルプランニング基礎 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
兼任	教授	ヒトウチ テルオ 尾藤 輝夫 (49)	平成28年4月	プレゼンテーション フィールドワークA フィールドワークB						
兼任	教授	ノセ トシアキ 能勢 敏明 (56)	平成28年4月	プレゼンテーション						
兼任	教授	キョウ ケンキ 邱 建輝 (53)	平成28年4月	知的所有権論A						
兼任	教授	イナタ ヨウジ 磯田 陽次 (62)	平成28年4月	知的所有権論A						
兼任	教授	オカサハラ タカシ 小笠原 正 (65)	平成28年4月	知的所有権論A						
兼任	教授	マツモト シンイチ 松本 真一 (54)	平成28年4月	知的所有権論A						

兼担	教授	コウ ユウハ 呉 勇波 (54)	平成28年4月	標準化論A			後任未定			平成29年4月退職、呉勇波、一身上の理由、後任公募中(29)
兼担	教授	ハセガキ ケンイチ 長谷川 兼一 (48)	平成28年4月	標準化論A 都市環境論						
兼担	教授	ミスノ マモル 水野 衛 (51)	平成28年4月	信頼性工学A						
兼担	教授	ドウサカ コウジ 堂坂 浩二 (54)	平成28年4月	信頼性工学A インターンシップ						
兼担	教授	イカギ ナオキ 板垣 直行 (47)	平成28年4月	信頼性工学A						
兼担	教授	コバヤシ ジュン 小林 淳 (65)	平成28年4月	信頼性工学A	兼担	教授	キムラ ユウカ 木村 寛 (46)	平成28年4月	信頼性工学A	授業担当科目の変更(28) 就任予定月日、担当授業科目名未記載のため追記(29)
兼担	教授	モリ ヒデアキ 森 英明 (56)	平成28年4月	失敗工学A	兼担	教授	後任未定 トミオカ タカヒロ 富岡 隆弘 (50)	平成29年4月	失敗工学A	平成28年3月退職、森英明、一身上の都合、後任公募中(28) 平成29年4月新規採用(29)
兼担	教授	アヤマ カン 青山 隆 (64)	平成28年4月	失敗工学A	兼担	教授	コタニ コウジ 小谷 光司 (51)	平成29年4月	失敗工学A	平成29年3月退職、青山隆、定年退職(29) 平成29年4月新規採用(29)
兼担	教授	ニシダ テツヤ 西田 哲也 (52)	平成28年4月	失敗工学A						
兼担	教授	タニチ ヒロユキ 谷内 宏行 (64)	平成28年4月	ライフサイクルプランニング基礎※ 環境型生産管理論						
兼担	准教授	グアドラ カルロス クアドラ カルロス (56)	平成28年4月	プレゼンテーション※						
兼担	准教授	キクチ エイジ 菊地 英治 (54)	平成28年4月	知的所有権論A※ ライフサイクルデザイン 製品技術論 ライフサイクルプランニング基礎※						
兼担	准教授	シマザキ マサヒト 嶋崎 真仁 (48)	平成28年4月	ライフサイクルプランニング基礎※						
兼担	准教授	タカネ ショウイチ 高根 昭一 (49)	平成28年4月	音環境工学						
兼任	講師	クマガイ セイジ 熊谷 誠治 (43)	平成28年4月	環境・エネルギー工学						

「共通」

兼担	教授	ヒヤマ ススム 檜山 晋 (50)	平成28年4月	実践英語 A						
兼担	教授	タカハシ ヒデノブ 高橋 秀晴 (59)	平成28年4月	風土・文化構造論【隔年】						
兼担	教授	ワタナベ サトシ 渡部 諭 (60)	平成28年4月	感性情報と環境の心理【隔年】						
兼担	准教授	スティーブソン シュカート スティーブン シュカート (65)	平成28年4月	英語プレゼンテーション A						
兼担	准教授	コマツダ ヨシタカ 小松田 儀貞 (55)	平成28年4月	地域社会と家族【隔年】						
兼担	准教授	ウチヤマ マサノブ 内山 応信 (41)	平成28年4月	生体情報と運動の生理【隔年】						
兼担	助教	スズキ コウスケ 鈴木 祐丞 (37)	平成28年4月	科学技術と倫理【隔年】						

<秋田大学 理工学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻>

(1) 担当教員表
(秋田大学)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ナカムラ マサヒデ 中村 雅英 (60)	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 熱流体エネルギー移動・変換工学 地域産業論 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
専	教授	タシマ カツミ 田島 克文 (51)	平成28年4月	電磁エネルギー変換工学 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
専	教授	ミシマ ノブム 三島 望 (53)	平成28年4月	ライフサイクルデザイン工学基礎 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究 リサイクルシステム設計論						
専	准教授	タカハシ マモル 高橋 護 (47)	平成28年4月	マイクロ加工学特論 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
専	准教授	ヤマグチ ケイコ 山口 邦彦 (62)	平成28年4月	応用物性学 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
専	准教授	ロ ショウキ 魯 小葉 (59)	平成28年4月	先端機能材料学特論 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
兼任	教授	ホリガチ セイジ 堀口 誠二 (63)	平成28年4月	電子デバイス工学						
兼任	講師	セキ タケシ 関 健史 (33)	平成28年4月	電子制御機械工学特論						
兼任	教授	イマイ タダオ 今井 忠男 (50)	平成28年4月	岩盤工学特論Ⅰ						
兼任	教授	アガチ ツヨシ 安達 毅 (46)	平成28年4月	資源経済学特論 リサイクルシステム設計論						
兼任	准教授	ヒノ サトル 日野 智 (41)	平成28年4月	都市システム計画特論						
兼任	教授	サトリ マサシ 佐藤 正志 (64)	平成28年4月	ライフサイクルデザイン工学特論						
兼任	講師	ツシマ マサキ 対馬 雅己 (65)	平成28年4月	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅰ						
兼任	講師	オホキ タツヤ 大木 達哉 (49)	平成28年4月	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅱ						
兼任	教授	オノカ マサフミ 尾高 雅文 (51)	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 生命医理工学特論						
兼任	教授	ムラカミ ケンジ 村上 賢治 (47)	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ						
兼任	教授	ハラ モトイ 原 基 (61)	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	兼任	教授	アソウ セツオ 麻生 節夫 (63)	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	カカミ ハジメ 河上 肇 (55)	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ						
兼任	教授	イノノ カズヒコ 今野 和彦 (60)	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	兼任	教授	クラバヤシ トオル 倉林 徹 (60)	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	平成29年4月 担当者の変更 (29)

兼担	教授	カゲヤマ ヨウイチ 景山 陽一 (43)	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II 生命医理工学特論	兼担	教授	ミトベ カズキ 水戸部 一孝 (49)	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	オキヤマ エイ 奥山 栄樹 (55)	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼担	教授	アダチ タカヒロ 足立 高弘 (45)	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼担	教授	ハマカ ヒデカツ 濱岡 秀勝 (47)	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼任	講師	サナダ シン 真田 慎 (52)	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論						
兼担	寄附講座 准教授	イノノミチ 今野 道人 (45)	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論	兼任	講師	タイマツ ヒトシ 泰松 齊 (65)	平成29年4月	地域産業アントレプレナー論	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	講師	ムカミ ノブヒロ 村上 信博 (53)	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論						
兼任	講師	ホシ ノリユキ 星 則幸 (55)	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論						
兼任	講師	シム マルコム シェーン SIM Malcolm Shane (42)	平成28年4月	プレゼンテーション技法	兼任	講師	ジョー サイクス Joe SYKES (40)	平成29年4月	プレゼンテーション技法	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	准教授	アバジエバ エミリア ABADZHIEVA EMILIYA (42)	平成28年4月	理工学英語 I Introduction to Systems Design Engineering (システムデザイン工学概論)						
兼担	講師	セリン パヴェル SELIN PAVEL (33)	平成28年4月	理工学英語 III						
兼担	准教授	グレイブ エヴァ マーガレット GRAVE EWA MALGORZATA (44)	平成28年4月	理工学英語 II 理工学英語 IV	兼担	准教授	ウォーターズ エイモン パトリック ジョン WATTERS EAMON PATRICK JOHN (48)	平成28年10月	理工学英語 II	平成28年10月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	ゼニヤ アキオ 銭谷 秋生 (63)	平成28年4月	技術者倫理特論 科学技術倫理特論						
兼担	寄附講座 准教授	カラムラ シゲル 川村 茂 (55)	平成28年4月	リサイクルプロセス設計特論						
兼任	講師	ワタ ユカ 和田 豊 (34)	平成28年4月	宇宙科学特論	兼任	講師	アベ タミ 阿部 琢美 (57)	平成29年10月	宇宙科学特論	平成29年10月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	ミズタ トシヒコ 水田 敏彦 (46)	平成28年4月	地震防災特論 地域防災学特論						
兼担	特任 准教授	カマキ カノブ 鎌滝 孝信 (44)	平成28年4月	古地震学特論						
兼担	教授	イシヤマ タクヱウ 石山 大三 (59)	平成28年4月	地球資源成因論						
兼担	教授	イワ ヨシヒロ 岩田 吉弘 (56)	平成28年4月	地球資源成因論						
兼担	教授	シハヤマ アツシ 柴山 敦 (45)	平成28年4月	地球資源成因論 資源分離精製論						
兼担	教授	ミズタ トシオ 水田 敏夫 (68)	平成28年4月	地球資源成因論	兼担	教授	ワタベ ケン 渡辺 寧 (58)	平成29年4月	地球資源成因論	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	講師	オワタ シュウジ 大和田 秀二 (60)	平成28年4月	資源分離精製論						

兼担	准教授	カサキ ヤスシ 高崎 康志 (44)	平成28年4月	資源分離精製論							
兼担	教授	シノトウ タカシ 進藤 隆世志 (58)	平成28年4月	資源化学・資源利用工学							
兼担	教授	ムラカミ ケンジ 村上 賢治 (47)	平成28年4月	資源化学・資源利用工学							
兼担	准教授	フダ キヨシ 布田 潔 (62)	平成28年4月	資源化学・資源利用工学							
兼任	講師	フジタ トヨヒサ 藤田 豊久 (62)	平成28年4月	資源化学・資源利用工学							
兼任	講師	ナカムラ タカシ 中村 崇 (66)	平成28年4月	リサイクルシステム設計論							
兼担	教授	カミヤ オサム 神谷 修 (62)	平成28年4月	自主プロジェクトⅠ 自主プロジェクトⅡ							
兼任	講師	ホソイ ヨシカ 細井 義孝 (67)	平成28年4月	国際関係論							
兼任	講師	ハセベ ミツシゲ 長谷部 光重 (68)	平成28年4月	マーケティング論							
兼任	講師	サトリ ヨシトモ 佐藤 善友 (58)	平成28年4月	ベンチャー起業論							
兼任	講師	サトウ ヒロシ 佐藤 博 (62)	平成28年4月	資源・工業経済論							
兼任	講師	サクライ ワカハ 桜井 若葉 (64)	平成28年4月	資源・工業経済論							
兼任	講師	トネガハ リオ 戸根谷 法雄 (63)	平成28年4月	リスクマネジメント							
兼任	講師	タカハシ ヒロキ 高橋 弘毅 (62)	平成28年4月	技術戦略学							
兼任	講師	ミズヅリ ハルキ 水澤 春樹 (62)	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	イトウ ヒデノリ 伊藤 秀範 (34)	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	サトウ タカユキ 佐藤 貴幸 (32)	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	タカハシ トシノリ 高橋 利典 (36)	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	トシマ ヒロユキ 豊島 洋之 (35)	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	モリカワ シゲヒロ 森川 茂弘 (68)	平成28年4月	知的財産論							
兼任	講師	タニグチ ヒロユキ 谷内 宏行 (64)	平成28年4月	経営戦略論							
兼任	講師	ヒロハタ ノブオ 廣畑 伸雄 (55)	平成28年4月	企業行動論							
兼担	准教授	カトヤ ヒロシ 角谷 浩 (54)	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	サイトウ アキヒロ 齋藤 昭彦 (40)	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)	
兼任	講師	タジマ マサオ 田嶋 正夫 (64)	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	サイトウ ヒロコ 齋藤 博子 (43)	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)	
兼担	教授	フジワラ ケンシユウ 藤原 憲秀 (53)	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	イトウ ヒデアキ 伊藤 英晃 (62)	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	ウケイ ヒデキ 涌井 秀樹 (59)	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論							
兼担	教授	クボタ ヒロシ 久保田 広志 (53)	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	ヒキタ マサキ 疋田 正喜 (50)	平成28年4月	生命医理工学特論							

兼担	教授	ゴトウ タケン 後藤 猛 (55)	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	ミトベ カスヲ 水戸部 一孝 (48)	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論							
兼担	教授	ナガナリ アキヒロ 長縄 明大 (48)	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論							
兼担	教授	イワミ タケヒロ 巖見 武裕 (49)	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	准教授	ナンジヨウ ヒロシ 南條 博 (53)	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	ミナミ マサトモ 三浦 昌朋 (46)	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	講師	フジシマ ナオト 藤島 直仁 (42)	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	ハシモト マナブ 橋本 学 (59)	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	ヒロカワ マコト 廣川 誠 (58)	平成28年4月	生命医理工学特論	兼担	助教	オモカワ アユミ 面川 歩 (35)	平成29年4月	生命医理工学特論	平成29年4月 担当者の変更(29)	
兼担	教授	アントウ ヒデアキ 安藤 秀明 (53)	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	シケイ ミツシ 寺境 光俊 (51)	平成28年4月	医理工連携実践論							
兼担	教授	ミナミ ヨシヒロ 南谷 佳弘 (54)	平成28年4月	医理工連携実践論							
兼担	理事	コトウ カツキ 近藤 克幸 (50)	平成28年4月	医理工連携実践論							
兼任	講師	ノボリ キヨシ 野堀 潔 (43)	平成28年4月	医理工連携実践論							
兼任	講師	アカガミ ヨリイ 赤上 陽一 (56)	平成28年4月	医理工連携実践論							

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の2)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
秋田県立大学	1 名	1 名	1 名
秋田大学	3 名	2 名	2 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

大学名	設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
	教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
秋田県立大学	1	4	0	0	5	1	4	0	0	5	1	4	0	0	5
	1	(4)	(0)	(0)	(5)						[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	5	0	0			5	0	0			5	0	0		
	(5)	(0)	(0)								[±0]	[±0]	[±0]		
秋田大学	3	3	0	0	6	3	3	0	0	6	3	3	0	0	6
	(3)	(3)	(0)	(0)	(6)						[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
	5	1	0			5	1	0			5	1	0		
	(5)	(1)	(0)								[±0]	[±0]	[±0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
秋田県立大学	67 歳	0 名	0 名
秋田大学	65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
秋田県立大学			該当なし								
秋田大学			該当なし								
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
秋田県立大学	該当なし	人	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
			選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
			自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
			計	〇〇	科目	計	〇〇	科目	計	〇〇	科目
秋田大学	該当なし	人	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
			選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
			自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
			計	〇〇	科目	計	〇〇	科目	計	〇〇	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
秋田県立大学			該当なし								
秋田大学			該当なし								
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)							
辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
秋田県立大学	—	人	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
			選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
			自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
			計	〇〇	科目	計	〇〇	科目	計	〇〇	科目
秋田大学	—	人	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
			選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
			自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
			計	〇〇	科目	計	〇〇	科目	計	〇〇	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

大学名	合計(A)+(C)				後任補充状況の集計(B)+(D)									
	辞退等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)			②の合計数(b)			③の合計数(c)			
秋田県立大学	0	人	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
			選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
			自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
			計	〇〇	科目	計	〇〇	科目	計	〇〇	科目	計	〇〇	科目
秋田大学	0	人	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
			選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
			自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
			計	〇〇	科目	計	〇〇	科目	計	〇〇	科目	計	〇〇	科目

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

秋田県立大学：該当なし

秋田大学：該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年4月)	該当なし	〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし	〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)		〇〇意見	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

(秋田県立大学)

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

(秋田大学)

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

(秋田県立大学)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>秋田県立大学教務・学生委員会規程（別紙1）</p> <p>秋田県立大学教務・学生委員会ファカルティ・デベロップメント専門部会設置要綱（別紙2）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>教務・学生委員会：概ね四半期に一度開催</p> <p>FD専門部会：年度当初に定例開催、必要に応じて随時開催</p> <p>FD専門部会システム科学技術分会：年度当初に定例開催、必要に応じて随時開催</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>（FD専門部会審議事項）</p> <ol style="list-style-type: none">1. FDの啓蒙及び周知に関すること2. FD事業の基本計画及び実施計画の策定並びに総括に関すること3. FD事業の実施及び取りまとめに関すること4. その他FDに関すること <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 外部講師によるFD講演会

- ・ シラバスの充実にに向けた企画立案
- ・ オフィスアワーの実施
- ・ 学生を対象とした授業アンケートの実施
- ・ 他教員の授業を参観する授業公開の実施
- ・ 教職員研修会の実施
- ・ ティーチングポートフォリオの導入
- ・ その他、学外FDセミナーへの参加

b 実施方法

FD専門部会（全学組織）でFD活動の基本方針を決定し、その基本方針の下、システム科学技術分会において学部・研究科内のFD事業実施計画を定め、実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度の事業計画は概ね前年度と同様の事業実施を予定している。

平成28年度の事業実績は以下のとおりである。

（平成28年度実績）

- ・ FD講演会「研究指導の質をどう高めるか」

開催日：平成28年9月30日（金） 講師：神戸大学大学教育推進機構 近田政博氏 参加者数：79名

- ・ 授業アンケート：既存専攻 前期・後期課程137名中86名から回収
- ・ 授業参観：4件
- ・ 教職員研修会

① 「平成28年度新任教員研修会」

開催日：平成28年4月1日（金）

内 容：教務・学生指導・FDについて

参加者数：4名

② 「平成28年度FD勉強会」

開催日：平成28年9月30日

内 容：「教員によるざっくばらんな情報交換会」

参加者数：35名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD講演会や勉強会を毎年実施し、授業改善の参考としている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 学部生に対しては前期と後期の2回、全授業科目で実施、大学院生に対しては後期に実施した。

b 教員や学生への公開状況，方法等

- ・ 学部授業アンケートの集計結果を学内イントラネットで公開している。
- ・ 各科目ごとの結果については、当該教員に個別に通知している。
- ・ 大学院授業アンケートについては、FD委員会等で集計結果を取り纏め、各学科（専攻）会議等で情報を共有している。

(秋田大学)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

理工学研究科教育改善委員会

《関係規程等》

秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程

(趣旨)

第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育改善委員会(以下「委員会」という。)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。
- (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。
- (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。
- (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。
- (5) FD活動の実施等に関すること。
- (6) その他教育改善に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名
- (2) その他研究科長が必要と認めた者

(任期)

第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を主宰する。
- 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。
- 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学部が存続する間、当該学部に適用する。

附 則

この規程は、平成26年11月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科に適用する。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

4回開催(平成26年度実績)。8回開催(平成27年度実績)。6回開催(平成28年度実績)。
構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

a 実施内容

- (1) FD・SDシンポジウムの開催
- (2) FDワークショップの開催
- (3) 教員による授業評価

b 実施方法

- (1) FDシンポジウム：発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。（平成26年度実績）
FD・SDシンポジウム：ルーブリック評価とeラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびeラーニングの事例紹介を行った。（平成28年度実績）
・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。（平成28年度実績）
- (2) FDワークショップ：学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。（平成26年度実績）
・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。（平成27年度実績）
- (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。（各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) FDシンポジウム：平成26年9月18日（木） 参加者：36名
FD・SDシンポジウム：平成28年12月6日（火） 参加者：40名
平成29年3月13日（月） 参加者：52名
- (2) FDワークショップ：平成26年12月12日（金） 参加者：33名
平成27年12月11日（金） 参加者：36名
- (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。（平成26年度実績）
平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。（平成27年度実績）
平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。（平成28年度実績）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回、大学院及び学部の全学生を対象に実施した。（平成26, 27, 28年度実績）

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

- ・ 構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

(秋田県立大学)

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

完成年度を迎え状況は、順調に進んでいる。
引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年6月

b 公表方法

- ・両大学のHPを活用して共同専攻に係る各種の情報を発信している。報告書等についても主に当該HPを活用した公表を予定しており、広く社会へ情報提供していく予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28年度に受審し、評価結果を平成29年3月に本学HPで公開している。

（評価既機関：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）

(秋田大学)

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。
引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年度以降

b 公表方法

- ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
- ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を受けた。現在は次回（平成31年度予定）の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・構成大学ごとに記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

(秋田県立大学)

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成29年7月1日)

(秋田大学)

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成29年7月1日)

- ・ 構成大学ごとに記入してください。